

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-14505(P2011-14505A)

【公開日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-003

【出願番号】特願2009-159989(P2009-159989)

【国際特許分類】

F 21S 2/00 (2006.01)

F 21V 29/00 (2006.01)

F 21Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21S 2/00 214

F 21S 2/00 224

F 21V 29/00 111

F 21Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月22日(2012.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LED素子と、

前記LED素子を内部に収容すると共に、該LED素子の正面方向に開口部を有し、正面以外の方向に内部と外部を連通するスリットを有する筐体と、

を備えることを特徴とするLED電球。

【請求項2】

前記筐体が複数の放熱フィンを放射状に有し、隣り合う放熱フィンの間に前記スリットが形成されていることを特徴とする請求項1に記載のLED電球。

【請求項3】

前記筐体の材料に、熱伝導率の高い金属、又は熱伝導率の高いフィラーを混入したプラスチックが用いられていることを特徴とする請求項1又は2に記載のLED電球。

【請求項4】

前記筐体の材料にアルミニウムが用いられていることを特徴とする請求項3に記載のLED電球。

【請求項5】

前記筐体の表面に金属メッキ又は金属蒸着による反射膜が形成されていることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のLED電球。

【請求項6】

前記スリットと前記LED素子との間に、該LED素子の発する光が透過可能で、該LED素子に汚れが付着することを防止するバリア部が設けられていることを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載のLED電球。

【請求項7】

前記バリア部が着色していることを特徴とする請求項6に記載のLED電球。

【請求項8】

前記スリットが前記筐体の正面においても露出していることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の L E D 電球。

【請求項 9】

前記筐体の正面の一部又は全体を覆うカバーが設けられ、該カバーが凹凸を有する透明樹脂から成ることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の L E D 電球。

【請求項 10】

前記カバーの一部が開口され、該カバーの開口に配光制御板を嵌め込むことを特徴とする請求項 9 に記載の L E D 電球。

【請求項 11】

L E D 素子と、

前記 L E D 素子の正面に設けられた、中央に開口部を有する、凹凸を有する透明樹脂板から成るカバー板と、

を備えることを特徴とする L E D 電球。

【請求項 12】

前記開口部に配光制御板を設けたことを特徴とする請求項 11 に記載の L E D 電球。